

ギャンブル等への のめり込みによる借金の場合、 安易な肩代わりはやめましょう。

- ギャンブル等依存症は精神疾患の1つです。ギャンブル等をしたことのある人であれば、意思の強弱に関係なく、誰でもなり得るもので、自分の意思ではやめられない状態になってしまいます。
- ご家族が借金の肩代わりをする、病気を理解しないまま借金の返済を進めると適切な治療・診断に結びつかず、逆に新たな借金を作ってしまったたり、病気の回復を妨げてしまうことがあります。
- ギャンブル等依存症については、医療・相談機関（お住まいの地域の保健所・精神保健福祉センター等）に、借金返済については、お住まいの都道府県・市区町村や最寄りの財務局に相談しましょう。
- 本人が回復の必要性を自覚するまでには時間がかかることから、ご家族だけでも相談できますので、周囲の方が専門の機関に相談して、「適切なサポート」の仕方を知ることからはじめましょう。

お問い合わせ先

依存症の相談機関や基礎知識などは依存症対策全国センター（NCASA）のホームページをご覧ください。

依存症対策全国センター



<https://www.ncasa-japan.jp/>



GA（ギャンブラーズ・アノニマス）【当事者】

046-240-7279

（公社）ギャンブル依存症問題を考える会

03-3555-1725

ギャマノン【家族・友人】

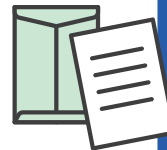
03-6659-4879

（NPO）全国ギャンブル依存症家族の会

090-6737-8665

貸付自粛制度について

浪費やギャンブル等依存症による借金により、ご本人やそのご家族の生活に支障を生じさせるおそれがある場合、日本貸金業協会または全国銀行個人信用情報センターに自らを自粛対象者とする旨を申告することで、貸付自粛情報が信用情報機関に登録され、信用情報機関の会員に貸付自粛情報を提供する制度です。



※申告できるのは原則ご本人のみです。

日本貸金業協会または全国銀行個人信用情報センターのどちらかへ申告することで、3つの信用情報機関（㈱日本信用情報機構（JICC）、㈱シー・アイ・シー（CIC）及び全国銀行個人信用情報センター）に、貸付自粛情報が登録されます。銀行・貸金業者等は、貸付自粛情報を、契約者（申込者）の支払能力に関する調査のために利用します。

お問い合わせ先

日本貸金業協会
貸金業相談・紛争解決センター

ナビダイヤル **0570-051-051**

日本貸金業協会



<https://www.j-fsa.or.jp/personal/trouble/way/>



全国銀行個人信用情報センター

フリーダイヤル **0120-540-558**

TEL（携帯電話から） **03-3214-5020**



全国銀行協会



<https://www.zenginkyo.or.jp/pcic/selfcontrol/>



バイオマス
使用部位：印刷インキ
No.000000

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

家計のお悩み

してみませんか？
相談



肩代わり・借金・ローン・
ギャンブル依存・債務・ヤミ金融など

借入れ・ローンの返済などにお困りの方は
こちらのリーフレットをご覧ください。

金融庁
Financial Services Agency

多重債務問題で困っても、
ヤミ金融には絶対に
手をださないで。



正規の貸金業者とは、
国(財務局)・都道府県で
貸金業登録を受けています。

※SNSなどを通じた個人間でのお金の貸し借りや、給与ファクタリング、後払い(ツケ払い)現金化においては、ヤミ金融業者による違法な貸付けや、個人情報の悪用などの犯罪被害やトラブルに巻き込まれる危険性があります。

ヤミ金融の手口は巧妙で手が込んでいます。
実際の被害や手口、ヤミ金融業者の情報を
確認し、被害にあわないようにしましょう。

日本貸金業協会



https://www.j-fsa.or.jp/topics/association/dark_finance.php



ヤミ金融から連絡があっても、
毅然とした態度で、
無視しましょう。

※連絡を取ることがあなたの情報を
与えることになります。



もし被害にあったしまったら一人で悩まず、
まず相談。

悪質業者の被害にあった時は、

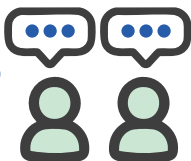
日本貸金業協会

都道府県庁の相談窓口

消費生活センター

警察

などにすぐに連絡してください。



金融庁のホームページでも
多重債務問題について
掲載しています。

金融庁 多重債務



<https://www.fsa.go.jp/policy/kashikin/>



多重債務に関するお問い合わせ先

一般消費者向け相談窓口

九州財務局鹿児島財務事務所 月～金:9時～12時/13時～17時(年末年始・祝日を除く)	099-227-5279
鹿児島県消費生活センター (月～金)午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く) (土曜日)午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く) ※日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休み	099-224-0999
大島消費生活相談所 (月～金)9時～12時/13時～17時 ※土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休み	0997-52-0999
消費者ホットライン ※お近くの市区町村や都道府県の消費生活センター等の 消費生活相談窓口をご案内します。	188
(公財)日本クレジットカウンセリング協会 月～金(12月28日～1月4日と祝日等を除く) 午前10時～12時40分/午後2時～4時40分	0570-031640
法テラス・サポートダイヤル 平日の9時～21時、土曜日の9時から17時(祝日・年末年始を除く)	0570-078374
鹿児島県弁護士会『多重債務者専用無料相談』 ※電話で受付・面談による相談。 月～金曜日(祝日を除く)午前9時～正午、午後1時～午後5時	099-226-3765

鹿児島県司法書士会 毎週月・水 13時～16時(祝日は除く) ①インターネット予約 ※当日午前9時まで受付 ②電話予約 ※月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時 (祝日・お盆休み・年末年始を除く)	099-248-8270
---	--------------

事業者向け相談窓口

法テラス・サポートダイヤル 平日の9時～21時、土曜日の9時から17時(祝日・年末年始を除く)	0570-078374
鹿児島県司法書士会 毎週月・水 13時～16時(祝日は除く) ①インターネット予約 ※当日午前9時まで受付 ②電話予約 ※月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時 (祝日・お盆休み・年末年始を除く)	099-248-8270
日本弁護士連合会ひまわり中小企業センター ひまわりほっとダイヤル 月～金曜日(祝日を除く) 午前10時～正午 午後1時～午後4時 ※電話で受付・面談による相談。	0570-001-240

市区町村の相談窓口

鹿児島市	消費生活センター	099-808-7500
鹿屋市	消費生活センター	0994-31-1169
枕崎市	消費生活センター	0993-72-1111
阿久根市	消費生活センター	0996-73-1278
出水市	消費生活センター	0996-63-6203
指宿市	消費生活センター	0993-22-2334
西之表市	消費生活センター	0997-22-1111
垂水市	消費生活センター	0994-32-0581
薩摩川内市	消費生活センター	0996-23-0808
日置市	消費生活センター	099-273-2172
曾於市	消費生活センター	0986-76-8823
霧島市	消費生活センター	0995-64-0964
いちき串木野市	消費生活センター	0996-33-5638
南さつま市	消費生活センター	0993-76-1640
志布志市	消費生活センター	099-472-1192
奄美市	消費生活センター(つながる相談室)	0997-52-1111
南九州市	消費生活センター	0993-83-2511
伊佐市	消費生活センター	0995-23-1336
姶良市	消費生活センター	0995-66-3165

法テラスについて

法テラスは、国が設立した公的な法人です。全国の法テラス事務所では、収入や資産が一定基準以下であるなどの条件を満たした個人の方を対象に無料法律相談を実施しています。

司法書士について

司法書士は、破産申立書等の書類を作成し、この事務について相談に応じることができます。認定司法書士は、個別の債権ごとの価額が140万円以下であれば、代理人として任意整理等の交渉をすることができます。